

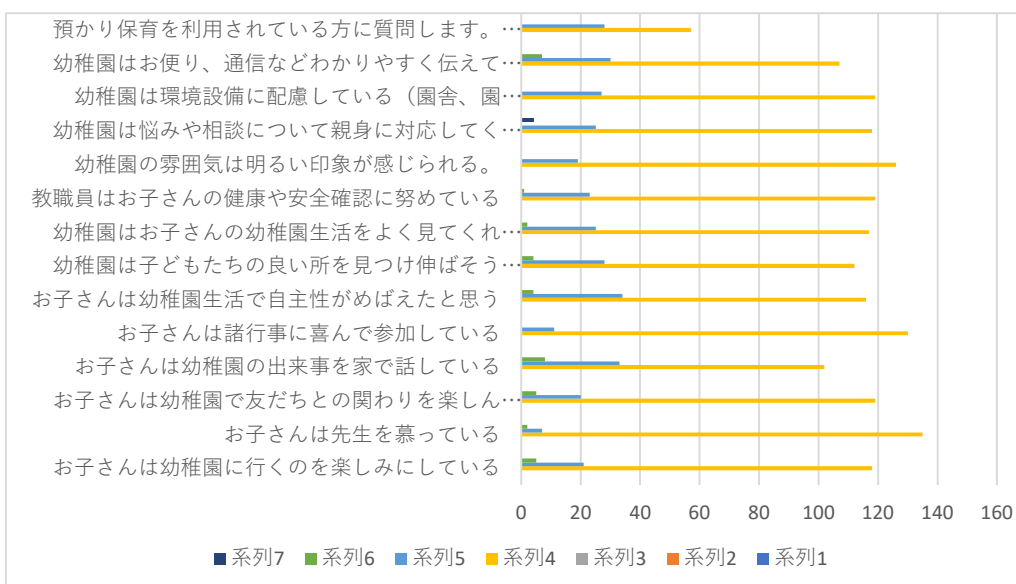
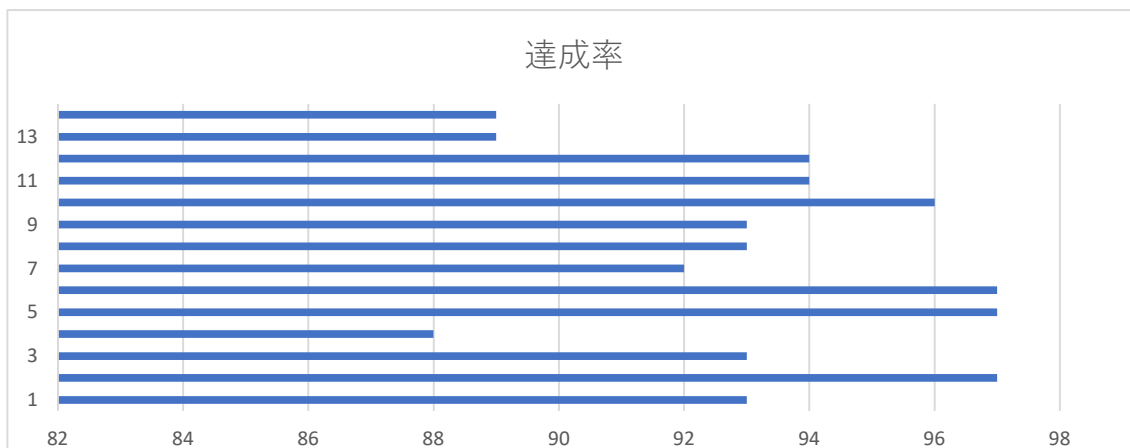
令和7年度教育に関するアンケート結果（学校評価）

全体

A=あてはまる B=大体当てはまる C=あまり当てはまらない D=あてはまらない						
アンケート内容		A	B	C	D	達成率
1	お子さんは幼稚園に行くのを楽しみにしている	118	21	5	0	93
2	お子さんは先生を慕っている	135	7	2	0	97
3	お子さんは幼稚園で友だちとの関わりを楽しんでいる	119	20	5	0	93
4	お子さんは幼稚園の出来事を家で話している	102	33	8	0	88
5	お子さんは諸行事に喜んで参加している	130	11	0	0	97
6	お子さんは幼稚園生活で自主性がめばえたと思う	116	34	4	0	97
7	幼稚園は子どもたちの良い所を見つけ伸ばそうとしている	112	28	4	0	92
8	幼稚園はお子さんの幼稚園生活をよく見ている	117	25	2	0	93
9	教職員はお子さんの健康や安全確認に努めている	119	23	1	0	93
10	幼稚園の雰囲気は明るい印象が感じられる。	126	19	0	0	96
11	幼稚園は悩みや相談について親身に対応してくれる	118	25	0	4	94
12	幼稚園は環境設備に配慮している（園舎、園庭、遊具など）	119	27	0	0	94
13	幼稚園はお便り、通信などわかりやすく伝えている	107	30	7	0	89
14	預かり保育を利用されている方に質問します。預り保育は適切に運営されていますか	57	28	0	0	89

※ 南幼稚園を選んで入園した理由を教えてください

- ①教育方針 46
- ②設備、環境 30
- ③園に近い 67
- ④友だちと 8
- ⑤知人の勧め 11
- ⑥その他 ・両親又は兄弟が卒園した園だから ・見学した時雰囲気が良かった ・未就園児教室が良かった
- ・預り保育の内容が適していた



自己評価シート

東松山学園 松山幼稚園 松山南幼稚園

評価	A: 十分達成している B: ほぼ達成している C: 達成しているとは言えないが努力をしている D: 達成されていない
----	--

評価分類	自己評価項目	評価	評価項目の取り組み状況など
① 教育課程・指導	1 園の教育理念や方針を理解し、めざす幼児の姿を具体的にイメージできる。	73	
	2 幼稚園教育要領を理解し、具体的に保育に生かしている。	74	
	3 園の教育課程を理解し、それをもとに保育の計画を立てている。	74	
	4 長期の指導計画はマンネリ化しないよう常に見直しを行い、短期の指導計画は幼児の実態に合わせて、変更のある順応性のあるものに行っている。	80	様々な遊びを取り入れ持続力や協調性、集中力などを高められるように、年間を通して子どもたちの発達や興味に合わせて活動を実施した。
	5 幼児の生活が豊かになるような行動を、実態に合わせて精選している。	80	
	6 教師の願いや意図を持ち、幼児の発達や生活を見通して環境構成をしている。	83	
② 健康と安全への配慮	1 けがや事故に特に気を付け、機会に応じた適切な配慮をしている。	93	常に周りを見るように心がけ、危険な状況が見られたときは、環境を工夫したり、クラス全体で安全かどうか話し合っている。
	2 健康な心と体を育てるための食育に取り組んでいる。	46	給食は苦手な物でも一口食べられるように声かけをしているが給食に対してプレッシャーを感じてしまう子もいるので本人に任せている部分も多い。
	3 緊急事態発生時に教職員が役割を把握し、連携して行動ができるよう訓練し共通理解が図られている。	87	定期的な避難訓練を状況を変えながら行うことによって不測の事態に備えている
③ 幼児の見取りと理解	1 一人ひとりの幼児をよく観察し言葉にならない思いやサインを受け止め、子ども同士のかかわりの中でその姿の内面の心の動きについても推察するようにする。	86	一人ひとりの発達に応じての対応を心掛けている。うまく言葉に出せない場面では声をかけたり様子を見守ったりすることで受け止めている。
	2 幼児の気持ちに共感しながら、一緒によく遊んでいる。	80	一緒に遊びながらも子ども同士でのかかわりが持てるように意識している。
	3 幼児のモデルとしての姿を心掛けている。	80	
	4 幼児同士のトラブルに対し、適切な対応をしている。	80	双方の気持ちを聞き受け止めながらどうしたらよかったか考える。お互いの気持ちや周りにいた子からの状況を聞きどちらも納得できるように対応している。
	5 幼児の年齢や発達に応じたかかわりをしている。	83	自分の力でできることやできそうなことは、見守っている

自己評価シート

東松山学園 松山幼稚園 松山南幼稚園

評価
 A: 十分達成している
 B: ほぼ達成している
 C: 達成しているとは言えないが努力をしている
 D: 達成されていない

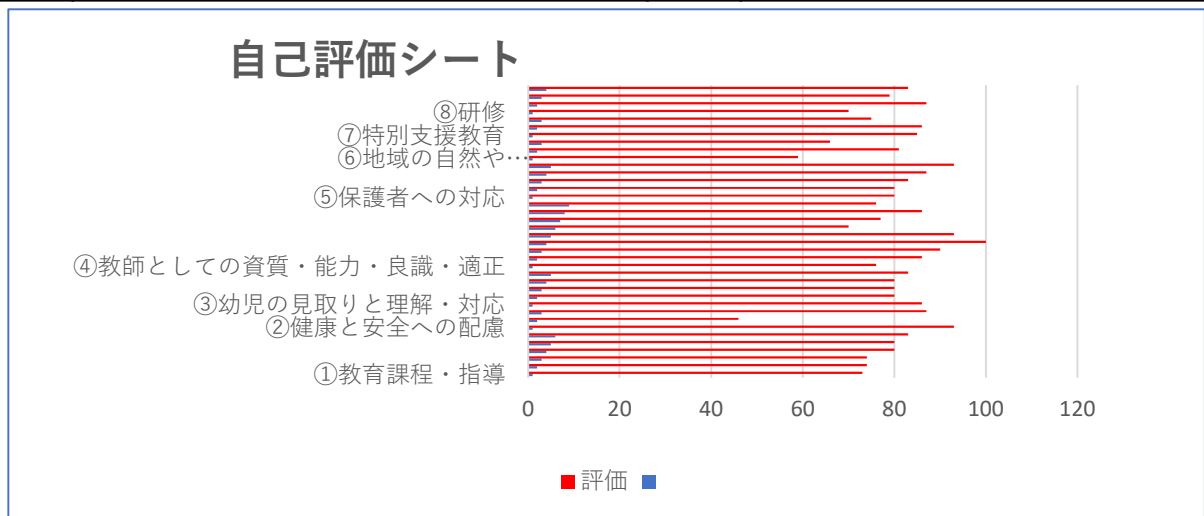
④ 教師としての資質・能力・良識・適正	1	保護者に対し、幼児の保育の姿を分かり易く伝え信頼関係をつくることを努めている。	76	・園の様子をお迎えに来た時に伝えたり、バス通園などで直接会えない保護者には定期的に電話で伝えている。
	2	幼児や保護者の対応は公平さを欠かないようにしている。	86	会える機会が少ない保護者には電話や手紙で伝えるようにしている。
	3	園の教材は節約して使い、後の人が使いやすいようにする。	90	
	4	職務上、知り得たプライバシーに関する情報などの秘密を守っている。	100	
	5	クラス内、園内外の清掃や整理整頓を実行している。	93	忙しく慌ただしくなってしまう時は乱雑になってしまうこともある。
	6	教職員全員、一つのチームであることを意識している。	70	意識はしているが行事などでは係が中心になっているのもっと全員が意識して取り組めると良いと思う
	7	他の意見を素直な気持ちで聞き、自分の意見を述べることができる。	77	
	8	当番や役割による仕事は確実にやっている。	86	未熟な所があるため、事前にしっかり準備をしている
	9	自然に対する感性を持ち、命の尊さを感じている。	76	
⑤ 保護者への対応	1	保育参観や個人面談をし、子ども保育家庭の在り方などについて共通理解を得るようにしている。	80	保育参観や希望面談を行うことで子どもの成長や生活について等共通理解を得るようにしている。
	2	園だより、メール等で園の教育について適切に情報を提供している。	80	情報提供はできていると思うが意外と園だよりを全部見ていない保護者もいる
	3	自分の考えをきちんと話し、保護者の話を心を開いてよく聞く。	83	
	4	園のすべての保護者に対し、挨拶や会話を心掛けている。	87	・保護者に進んで挨拶している ・明るい雰囲気を中心掛けて挨拶をしている
	5	クレームがあった場合は謙虚に話を聞き、園長、主任等へ連絡・報告・相談している。	93	

自己評価シート

東松山学園 松山幼稚園 松山南幼稚園

評価	A: 十分達成している B: ほぼ達成している C: 達成しているとは言えないが努力をしている D: 達成されていない
----	--

社 ⑥ 会 地 と 域 の 関 自 然 わ り り や	1	地域の自然や機関を指導計画の中で位置づけて活用している。	59	郵便局や、箭弓神社、動物公園など、季節に応じて活用している
	2	小学校生活に期待と憧れを持たせる機会を設け、小学校生活や学習につながる指導を行っている。	81	お部屋にひらがなや数字を掲示したり、曜日や日にちに親しめる声かけをしたり、文字や数に興味関心が持てるようにしている。年長の3学期には小学校に期待が持てるよう小学校の話題を取り入れ掃除や給食の箸チャレンジにも取り組んでいる
	3	子育て支援活動は地域や保護者の実情や要望に応じられる工夫をしている。	66	
⑦ 特 別 支 援 教 育	1	特別に支援が必要な幼児には、個別の指導計画などを作成し、必要に応じて専門機関との連携をしている。	85	
	2	特別に支援が必要な幼児をとりまく大人たちの相互理解を深め、個性の違いを認め、お互いに尊重できる人権教育に配慮している。	86	
	3	特別に支援が必要な幼児の就学相談を保護者で行い、小学校に必要な助言と申し送りを行っている。	75	就学時検診の様子や普段の保育の様子等の姿を照らし合わせ小学校の先生と引継ぎを行っている
⑧ 研 修	1	研修会には自己課題をもって進んで参加している。	70	
	2	自分の保育について計画と反省を行っている。	87	毎日記録をとって子どもたちの変化に気づけるようにしている。その日の反省を次に生かせるようにしている
	3	他園の見学をしたり公開保育を見てみたいと思う。	79	他園ではどのような取り組みをしているか気になる。幼保小三者連絡会で参観できる機会がある
	4	園内で幼児理解を深めるための話し合いを行っている。	83	職員間でクラスの様子や気になる子の様子などを伝え合っている。



学校評価シート（学校関係者評価）

幼稚園 学校関係者評価委員会

日時 2026年3月30日（月）

15時～16時30分（時間）

出席者 評価委員（4）人

評価委員（4）人

1. 自己評価で設定した目標・計画、評価項目の設定は適切であったか

コロナ以前のように過ごすことができるようになった中で、子どもたちが主体的に活動できるような目標、計画をしっかりと立て、幅広い項目で設定されており適切であったと考える。

2. 評価結果の内容は適切であった

設定した目標・計画・計画項目に従って適切であったと考える。

3. 今後取り組むべき課題は適切に設定されているか

地域の自然や社会との関わりについて、今後更に計画的に組み入れていくということなので良いのではないかと思います。小学校見学については、小学校の事情を含めて考えながら取り入れられるとさらに良いと思う。

4. 今後取り組むべき課題は適切に行われているか

それぞれの課題について今後取り組むべき課題が適切に行われているのではないかと考える。
3学期の学年末の面談について、園だよりのみのお知らせで気付いてなかった家庭も多かったようなのでもう少しわかり易くお知らせしがあると良かったのではないかと思います。

結 果	理 由
A	<ul style="list-style-type: none"> ・ 幼保小三者連絡協議会では今年度は当園が会場園になったことでテーマ「幼児教育と小学校教育の違いを理解し合い、スムーズな就学が図れるために」について改めて考え、保育の中で子どもの10の姿 {幼児期の終わりまでに育ってほしい姿} を確認し様々な経験の中、幼児期に友だちや保育者に認められ、受け入れられる経験を重ねていくことで持続力や協調性、自己肯定感、有能感など根っこの部分の育ちを大切にしていた。 ・ 運動会やお遊戯会などの行事に喜んで参加し出来ることやできたことが自信につながり自主性がめばえ主体的な生活を過ごす姿がみられた。 ・ 就学を楽しみにし期待と憧れが持て小学校生活や学習につなげられるよう教室にひらがなや数字を掲示したり曜日や日にちに親しめるよう声がけし興味関心が持てる環境設定を行った。

○結果 (※) について

A	十分達成されている
B	達成されている
C	取り組まれているが、成果が十分でない
D	取組が不十分である

5、今後取り組むべき課題

課 題	具体的な取り組み方法
I 教育課程・指導	<ul style="list-style-type: none"> ・ 園の教育理念や方針について教職員の中で話し合い理解していくなかで子どもの姿をイメージし保育計画を立てていく。 ・ 保護者アンケートから園選びの理由として教育方針からの回答も多かったが子どもの生活が豊かになるような行動を実態に合わせて検討しながら内容を選んで進めていく。
VI地域の自然や社会との関わり	<ul style="list-style-type: none"> ・ 今年度も動物公園や森林公園、箭弓神社や郵便局など又、じゃが芋畑に芋堀に行ったりし季節に応じて活用してきたが次年度は更に多方面に目を向け関わりを広げていく。 ・ 小学校見学が今年度はできなかつたので計画的に組み入れ近隣の諸学校との連携の中で就学への不安を取り除き期待を高めていく。
7 特別支援教育	<ul style="list-style-type: none"> ・ 特別に支援が必要な幼児をとりまく保育者同士の相互理解を深め個性の違いを認め、お互いに尊重できる人権教育に配慮していく。 ・ 5歳時検診が行われていることから市の関係機関等との連携をしっかり持ち保護者との就学相談を行い小学校に必要な助言や申し送りを行っていく。